

看護実践・キャリア 支援センター通信

2016年

Vol.9

看護基礎教育

看護学科学生へのキャリアデザインプログラム

平成 28 年 11 月 30 日に京大病院看護部長の秋山智弥先生をお迎えして、看護学科生へのキャリアデザインプログラム講演会が開催されました。当日は「看護の専門性を求めて ～私が描くキャリアデザイン～」というテーマで講演されました。看護学科生 3 年生、4 年生のみならず、勤務が終わって疲れているにもかかわらず 78 名の看護職の方々も参集し、聴講しました。

御略歴からもわかるように、臨床、研究、教育そしてそれらを統合した管理職というキャリアから、とても胸に響くお話を聞かせていただきました。ご自身の経験した事例を通してのお話はわかりやすく、特に「治療できない状況は存在しても、看護できない状況は存在しない。」の言葉は強く残るものでありました。

事後のアンケートから、「看護の本質を見直す機会になりました。自分にとって看護を考えていきたい。」との意見もあり、有意義な講演会であったと思われました。

講師 秋山智弥 先生（京都大学医学部附属病院病院長補佐、看護部長）の御略歴

1992 年東大医学部保健学科（現・健康総合科学科）卒。同年より同大病院整形外科に勤務。1998 年同大大学院医学系研究科修士課程修了（保健学）後、新潟県立看護短大助教授。

2002 年より京大病院に勤務し、2011 年より現職。現在は、看護の「見える化」に努め、看護師の専門性の明確化とともに、各種教育プログラムや看護職人材育成モデル「京大病院マングローブ型キャリアパス」の創設・実践に力を入れている。

「京大病院マングローブ型キャリアパス」とは

京都大学医学部附属病院では、看護専門職のキャリアパスをマングローブの生態系になぞらえて表現しています。キャリアパスとは、職員一人ひとりが仕事の経験を通して成長し、自らの夢や目標、適正にかなった進路を選択しながら職業人として歩む道筋のこと。海から陸への境界に群生し、たくさんの生き物に豊かな棲息環境をもたらすマングローブのように、“人々の生きる環境をつくり・まもる” 専門職として、変化する医療・社会の中で常にチャレンジしつづけていくことのできる、優しく逞しい人材を育てています。

看護実践教育

「実習指導者研修」

平成 28 年 12 月 7 日に看護学科実習検討ワーキング部長の五十嵐教授を講師に迎えて、実習指導者研修が開催されました。

研修はワークショップ形式で活発なディスカッションが行われ、今後の実習指導において有意義な結論が導かれました。

事後のアンケートでは、「他部署の指導者とのディスカッションから、実習の教材化や発問について具体的に検討できた。学生が体験を通して看護の意味づけや、患者の気持ちを考えることができるように、思考を引き出す事の重要性を再認識した」といった内容が多く、貴重な学びが得られたようでした。



地域貢献

「がん看護」研修

「緩和ケア」「コミュニケーション演習」

平成 28 年 12 月 10 日（土）に平成 28 年度がん看護研修 5 回シリーズの第 4 回「緩和ケア」研修が、開催されました。当院の緩和ケア認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師により、「緩和ケア概論」「症状マネジメント 身体症状」「症状マネジメント 精神症状」「症状マネジメント がん性疼痛」の 4 つのテーマについて講義していただき、院内・院外から 34 名の参加がありました。

平成 29 年 1 月 21 日（土）には、第 5 回「コミュニケーション演習」が行われました。院内・院外から 19 名の参加者がグループに分かれて、3 事例の場面を『NURSE』に基づくコミュニケーション技法を考えながら、看護師役・患者役・観察者役となりました。普段の自分自身のコミュニケーションを振り返る機会となり充実した研修となりました。



看護実践教育 特定行為研修 説明会

平成 28 年 1 月から 12 月の 1 年間、特定行為について学んだ急性期コース 1 期生の皆さんが、無事に修了認定を受けられました。修了生の方々による説明会を平成 29 年 1 月 23 日に開催いたしました。特定行為が認知され、活動が活発に行え、患者さんをお待たせすることなく、タイムリーで質の高いケアが提供できるよう、今後その活躍に期待します。



看護実践教育 特定行為研修 急性期コース 2 期生 開講式

平成 29 年 1 月より「特定行為研修」急性期コース 2 期生の研修が開始となりました。2 期生の共通科目については、医学科の先生方の対面講義も一部継続となりますが、急遽、SQUE 研究会の e ラーニングを利用して受講することとなりました。演習・実習については、臨床の医師・薬剤師・研修修了生の協力をいただきながらすすめていく予定です。今後ともご支援・ご協力よろしく願いいたします。



看護実践教育 「対人援助の基礎知識・技術」研修 ベーシックコース

今回で、3クール目となります『対人援助の基礎知識・技術』研修のベーシックコースが、平成28年12月1日から始まりました。全6回で予定されている研修の3回が終了したところです。看護学科の精神看護学講師橋本颯子先生による講義と、後半には演習を含む研修となっています。看護部から8名の看護主任と、看護学科教員1名が、勤務終了後にも関わらず、熱心に研修に参加されています。研修の中では、対人援助の基礎となる心の構造と理論について学習し、カウンセリングの基本的態度である「援助者の自己一致」「無条件の肯定的配慮」「共感的理解とその伝達」について、これから行うカウンセリング場面の演習や、現場での面談等に活かしていただきたいと思います。



今後のセンター事業

☆看護学科3年生と看護部スタッフとの懇親会

日時：平成29年2月24日(金) 17:15~18:30

場所：レストラン ROYAL

☆育児休業者の復職支援プログラム

日時：平成29年3月1日(水) 11:00~13:00

場所：なかよし保育園

☆卒前学生への基本的看護技術トレーニング

日時：平成29年3月14日(火) 9:00~12:15

場所：看護学科棟 第2合同講義室(1階)・基礎看護実習室(新館3階)

☆実習指導者と看護学科教員との交流会

日時：平成29年3月17日(金) 18:00~19:00

場所：レストラン ROYAL